

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」所沢校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性や課題、プログラム、人数に合わせてスペースをつくるようにしている。 ・パーティションで区切っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、利用児の実態に合わせたスペースの確保を行う。
	②	職員の配置数は適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援の担当者だけでなく職員全員で子どもを見守るようにしている。 ・急に休みの職員が出た時に心配はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切である。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い環境にするために、改善点を検討し続ける必要があると思う。 ・ハード面の問題で難しいところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーティションが軽く倒れやすいため、安全面で配慮する。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃を行い、来所する子どもに合わせて空間づくりを行っている。 ・常に整備を心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、衛生的な教室環境を維持できるよう整備を行う。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な業務において振り返りを行い、改善につなげていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、PDCA を意識して業務を行う。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援後の FB やアンケート等で、保護者の意向を聞くようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、利用児や保護者の要望を反映させた支援プログラムを提供できるよう、工夫を行う。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公開している。 	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価が行われる機会があると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価を受ける機会があれば、それを業務改善に活かしていく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ毎月研修があり、支援に活かしている。 ・各種研修に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に関する研修に加え、職員の経験年数に応じた研修も実施するなど、より充実させている。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で話し合ったり、子どもや保護者から話を聞き、ニーズや課題を客観的に分析することを心がけている。 ・半年に一度、アセスメントを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なアセスメントを継続することで、利用児の現状や成長過程を教室内・保護者と共有できるようにしていく。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・会社で共通のアセスメントツールを利用している。 	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・本人支援が主となっているが、子どもの課題に合った支援内容が設定されていると思う。 ・児童発達支援ガイドラインを参照しながら、個別支援計画を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインを閲覧するよう職員に働きかけ、ガイドラインの内容が反映された支援を提供できるようにしていく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの支援計画に合わせた支援を行なっている。 ・ミーティングや口頭にて情報共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、支援計画を振り返りながら支援を行なえるよう働きかけを行う。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・教室内ミーティング等で話し合いながら立案している。 ・ミーティング以外でも職員間で常に話し合いしやすい環境を維持している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内ミーティングを活用し、今後も活発な意見交換の場を設ける。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者のニーズや課題に合わせて様々なプログラムを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の実態に応じ、柔軟性に富んだ支援を心がけている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動を中心に行っているが、イベント等で集団活動も取り入れている。 ・ミーティング以外でも職員間で常に話し合いしやすい環境を維持している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段と違う利用児の姿を職員・保護者と共有できる機会として、今後も企画・運営を行う。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ毎朝、その日の支援内容や担当を確認できている。 ・毎朝、一日のスケジュールや連絡事項等を確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝行っている。 	

				・ミーティング以外でも職員間で常に話し合いしやすい環境を維持している。			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、子どもの様子や状況を支援終了後や翌朝に共有している。 ・週 1 回程度、事業所内ミーティングを行い、利用児童の情報共有の機会を設けている。 ・ミーティング以外でも職員間で常に話し合いしやすい環境を維持している。 	翌朝や事業所内ミーティングを通じて、利用児の現状を適切に把握するようにしている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援記録をとり、次の支援につなげたり改善に活かしたりしている。 	・利用児の様子が分かりやすく把握できるような記録作成に努める。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間や保護者と半年に一度モニタリングを行い、計画の見直しを検討している。 	・今後も定期的なモニタリングを実施していく。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、児発管と指導員 1 名が参加した。 	・今年度も参加する機会があれば、適切な人選を行う。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所や利用児の幼稚園・保育園とは必要に応じて連携を図っている。 	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		<ul style="list-style-type: none"> ・現状、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れていない。 	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		<ul style="list-style-type: none"> ・現状、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れていない。 	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			○	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等や保護者から要望があれば、電話等にて支援内容の共有を行っている。 ・保護者を通じて行っている。 	・保護者からの要望があれば今後も適切に対応する。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・今後、要望があれば情報共有を行えると良いと思う。 	・保護者からの要望があれば今後も適切に対応する。

				・保護者を通じて行っている。	
	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・相談支援事業所や利用児の幼稚園・保育園とは必要に応じて連携を図っている。
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	・今のところ機会がない。今後あると良い。 ・必要に応じて、行えるようにしていく。
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・できるだけ参加している。 ・今年度は2か月に1回参加中。 ・今後もできるだけ参加できるように調整を行う。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・支援後のFBやモニタリング等で保護者と子どもの発達や加地兄について共通の理解をもつように心がけている。 ・毎支援後のフィードバックを丁寧に行うことを、今後も心がける。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・今後は研修等を受け、そのような支援を行なえる体制を作れると良いと思う。 ・FB、事業所内相談を通じて行っている。 ・支援後のフィードバックや事業所内相談の場を活用し、今後も必要に応じて実施する。
保護者への説明責任等	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に十分な説明を行っていると思う。 ・契約時に読み合わせを行っている。
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・十分な説明をし、同意を得ていると思う。 ・今後も保護者に丁寧な説明をしようとして同意を得るようにする。
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・支援後FBや事業所内相談で、保護者の話や悩みを聞いている。 ・支援後のフィードバックや事業所内相談の場を活用し、今後も必要に応じて実施する。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・現状、機会がない。今後、保護者等から要望があれば出来ると思う。 ・企画・運営を行ったが、参加者は少なかった。 ・今後、ニーズ把握をしようとして実施を目指す。
	㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・保護者から相談等がある時は、よく話を聞き、必要な対応をしていると思う。 ・相談しやすい環境づくり、申入れがあった場合の迅速で丁寧な対応を今後も心がける。
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・LINEやブログ、SNS等で情報を発信している。 ・SNSを利用した情報発信を今後も継続する。

	⑳	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・十分注意をして取り扱っている。	・鍵付き書庫を活用するなど、今後も取扱いには十分注意する。
	㉑	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・子どもの特性に合わせて意思の疎通の仕方に配慮している。保護者とも、LINEや電話等を用いて情報伝達している。	・LINE や次回支援日案内用紙を活用し、適切で丁寧な意思疎通を図る。
	㉒	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・参加者はいないが、地域の子どものためのイベントを準備している。(年に一度) ・参加実績はない。	・利用者以外の方に向けたイベントを企画したが、問い合わせはなかった。
非常時等の対応	㉓	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・マニュアルを職員間、必要に応じて保護者にも共有している。	・マニュアルの回覧と教室内研修を通じて、適切な対応ができるようにしている。
	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・定期的に避難訓練を行っている。	・利用者への周知を行ったうえで、定期的な訓練実施を継続する。
	㉕	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・職員間で必ず共有している。 ・契約時、新年度には全員確認している。	・契約時と年度の切り替え時の確認を今後も徹底する。
	㉖	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・食事の提供はないが、小麦粘土を使用するときは保護者に確認をとっている。 ・食事提供なし	・アレルギー症状が出る恐れのある教具を使用する際は、取り扱いには十分注意する。
	㉗	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハット事例を作成し、職員間で共有している。	・些細なことでも記録し、安全面に配慮した支援の提供を心掛ける。
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・定期的に虐待防止研修を行っている。 ・年 2 回、教室内で研修を実施している。	・定期的な研修を通じて、虐待防止に対して共通認識を職員間でもっておくようにする。
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・身体拘束を行う場合については、職員間で話し合い、保護者にも十分な説明をしている。 ・個別支援計画に注釈で記載している。	・身体拘束を行わない支援を常に検討し、実施する。必要がある場合には保護者にも十分な説明を行う。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」所沢 校 保護者等数（児童数）：20 回収数：18 割合：90 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	2			問題ないと思う。	今後も利用児に合わせた活動スペースの確保を行う。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	1		1	・職員により差があるように感じる。 ・前年度と比較して、体制が整ってきたかと思う。	・各職員の支援の質の向上を目指し、自己研鑽を続けていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	2		1	動きやすくてとても良いと思う。	利用児の特性に応じてパーテーションを置く位置を工夫するなどして、わかりやすい環境整備に努める。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	3			仕切りに使用しているパネルが危ないと感じることがある。 広いスペースで活動しやすい。 たまに髪の毛のゴミなどが落ちているのが気になる。	安全に配慮され、衛生的な活動環境となるよう、常に整備に努める。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	17	1			支援期間が短く、よく分からない。 保護者の考えが伝わった計画である。	アセスメントやモニタリングを丁寧に行い、ニーズを的確に把握した支援計画作成に努める。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	1		1		支援計画の際にガイドラインの項目を適切に選択し、その旨を保護者に丁寧に説明を行う。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18					計画に沿った支援が提供できるよう、支援内容変更時には保護者との相談の上、計画を変更していく。

	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17	1				利用児の現状に合った支援が提供できるよう、職員間でミーティングを重ねている。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	6	2	6	機会があればお願いしたい。	要望があれば対応を検討する。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18					契約時に説明をしている。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17			1		新しい計画作成時には丁寧な説明を心がける。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	8	3	1	6	必要があればお願いしたい。	支援時のFBや事業所内相談を通じて簡易的には行っている。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18					支援後のFBを通じて、利用児に対しての共通理解を計っている。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17			1	必要があればお願いしたい。	事業所内相談等も活用しながら、保護者からの相談には適宜対応している。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	6	1	7	このような機会があることを知らなかった	今年度は企画したものの、実施にはいたらなかった。今後も要望があれば、開催を検討する。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16	1		1		相談ごとがあった際、すぐに対応して対応内容について丁寧に説明をしている。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18					支援後のFBやLINEを活用した連絡を行っている。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	2		4		LINEから、教室のSNSを閲覧できるようにしている。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	17	1				法令等に則り、十分に注意して取り扱っている。
非常時等	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11	3	1	3		契約時に、災害時の支援について説明し、用紙をお渡ししている。

の 対 応	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	3	4		定期的に避難訓練を行っており、その旨を掲示して利用者へお知らせしている。	
	満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	17	1		きりりはお勉強が出来る所と行くことを楽しみにしている。「きりりに行く」「きりり楽しかった」と話すので、楽しみにしているのだと思う。特に、男性指導員と会うのを楽しみにしている。	今後も、利用児が楽しく活動できる内容を提供しながら、発達を促していけるよう、支援の質の向上に努める。
		㉓	事業所の支援に満足しているか	16	2		子どもにやさしく接してくれて、ありがとうございます。	利用児も保護者も、安心して利用できる事業所運営を心掛ける。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。